

八幡地区

社協だより

第 35 号

令和7年2月28日

八幡地区社会福祉協議会



今年度の福祉員移動研修会は、一関市藤沢町にある「大籠キリシタン殉教公園」と禁教時代のキリシタンを受け入れた「長徳寺」を訪ねました。「福祉のこころ」に通じる何かを知るきっかけになれば・・・。（写真は、長徳寺本堂・渋谷真之住職を囲んで）

ご挨拶

八幡地区社会福祉協議会

会長 菊地 精一

皆様こんにちは、令和6年度評議員会（総会）において会長に選任された菊地精一です。私の地域福祉活動のはじまりは5年前町内会長になった時からです。まだまだ経験不足ですが鋭意、福祉活動に取り組んで参る所存であります。

八幡地区社協では7月に大切な研修会の一つであります「新任福祉委員研修会」が新任全員参加のもと開催され、福祉委員の役割、具体的活動について学ぶことができました。また、「福祉委員全体研修会」など各研修会の開催は福祉委員皆様の意見交換、交流の場でもありました。研修会では皆様のエネルギーを感じる事ができました。連携を深める日々の活動に繋がっていくばと思っております。

現在、生活環境の変化や高齢者問題などいろいろなものがからみ合い私たちの日常生活も複雑化しています。大切なのは日々の活動である「小地域ネットワーク活動」（安否確認、日常生活支援活動、ふれあいいきいきサロン活動）をしっかりと行うことであり、「明るく住みよいまち」をつくって行きましょう。

福祉委員の皆様におかれましては健康に留意され、無理せず活動いただきますようお願い申し上げます。

令和6年度 評議員会（総会）

令和6年5月18日（土）八幡コミュニティセンターに於いて開かれた評議員会（総会）で承認された事業計画、決算報告・予算は次のとおりです。

事業計画【主催事業】

- 一、日常活動
 - 小地域福祉ネットワーク活動の強化
 - ① 身近な福祉課題に気づく力を高める
 - ② 自然な気につけあいができる環境や、しくみづくり
 - ③ 身近な相談機能の強化
 - 二、新任福祉委員研修
 - 福祉役員の役割、福祉委員とは
 - 三、福祉委員全体研修
 - ① せんだい ai プランの第3回研修
 - ② 事例研究の発表
 - ③ 基本知識の講義
 - 四、福祉委員移動研修会
 - 五、八幡地区社協だよりについて第35号の発行を目標とする
- 【協賛事業】
- 一、「八幡和（なごみ）カフェ」の

社協の会費について

八幡地区社会福祉協議会は、地域福祉の中核として、地域住民が主体となり、住民自らの手で「福祉のまちづくり」を進めている任意の団体です。皆様から預かった会費は、仙台市社会福祉協議会に送付した後八幡地区社協に助成金として交付されます。

運営協力

- 二、八幡地区行事への協力
- 【学校関係】
- 一、八幡白はとパトロール隊への参加
- 二、仙台一中校区児童生徒善導協力会協議会への参加
- 三、三条中校区青少年健全育成連絡協議会への参加
- 四、八幡児童館運営懇談会への参加
- 【研修会等への参加】
- 一、地区社協会長・地区福祉活動推進員等研修会
- 二、地域福祉活動推進員連絡会
- 三、国見地域包括支援センター八幡地域包括圏域会議 他

決算報告

《収入の部合計》	2,926,478 円
前期繰越金	956,618
会費	909,900
地区社協助成金	454,950
ネットワーク活動助成金	553,000
諸収入	52,010
《支出の部合計》	1,895,664 円
会議費・事務費他	100,435
事業費	388,071
研修費・広報費	342,258
助成金・負担金	155,000
送付金	909,900

予算

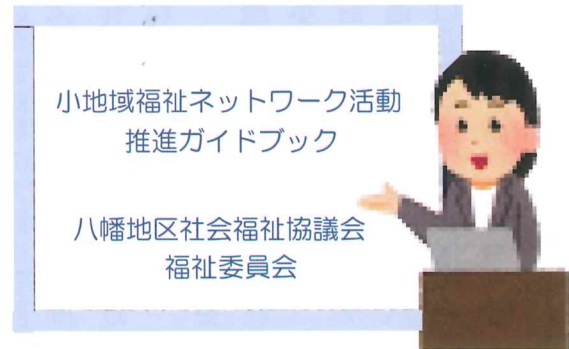
《収入の部合計》	2,828,000 円
前期繰越金	1,030,814
会費	898,000
地区社協助成金	449,000
ネットワーク活動助成金	400,000
諸収入	50,186
《支出の部合計》	2,828,000 円
会議費・事務費他	200,000
事業費	580,000
研修費・広報費	500,000
助成金・負担金・予備費	650,000
送付金	898,000

新任福祉委員研修会

令和6年7月16日に、新任の福祉委員9名全員が参加し研修会を開催しました。

講師は黒田地域福祉活動推進員、本木生活支援コーディネーター、八木サロンコーディネーターの3名。

「地域の実情にあわせ、支援する人・支援を受ける人が中心のネットワーク活動が最も大切」と平成17年に八幡地区福祉委



員会規程が設けられ、その活動内容は①みつける（見守り・声がけ）②しらせる（専門機関へ連絡）③つなげる（サロン等の活動に協力・参加）④ひろめる（福祉情報の提供・啓発）があげられます。「住民同士が、連携しながら連絡を取り合い、お互いの生活を支え合っていく活動」であること、無理なく活動すること、活動を押し付けないことなど地域福祉活動にはなくてはならない重要な役割を担っていることを学びました。

令和6年度八幡地区小地域福祉ネットワーク活動

福祉委員移動研修会

令和6年10月30日（水） 参加人数 28 名

福祉委員移動研修会



大籠キリシタン殉教公園カリヨンゲート

前年度まではコロナ過で一時中断した年もありましたが、3回にわたり沿岸部の震災遺構を訪ねて研修を重ねてまいりました。

今年度も残る遺構研修の案も検討しましたが、沿岸部訪問は一応の区切りとして、新たなテーマのもと、一関市藤沢町の仙台藩キリシタン殉教公園と潜伏キリシタンと知りながら檀家として受け入れてきた寺院を訪ねました。

大籠キリシタン殉教公園

大籠キリシタン殉教の歴史を伝えるために設置された公園で、平成8年に全体の整備が完了した。公園は、「歴史の庭」「歴史の道」「歴史の丘」の3つのゾーンからなっている。

「歴史の庭」には、母子像のある聖なる泉とキリシタン資料館がある。

「歴史の丘」には、彫刻家舟越保武設計の大籠殉教記念クルス館があり、館内には舟越氏の作品3体とメッセージが展示されている。

「歴史の道」は、歴史の庭と歴史の丘を309段の階段または遊歩道によって結ぶ道で、遊歩道沿いには、舟越氏の「十字架の道行」やローマ教皇ヨハネパウロ二世や遠藤周作他著名人のメッセージ碑、史跡復元模型などがある。（史跡ガイドマップから）



公園到着後、歴史の庭にあるキリシタン資料館に入り、まず全員で殉教にまつわる映像を見て、その後各自展示物の鑑賞や庭を散策。

歴史の丘へは標高差約70m、階段直登組と遊歩道組に別れそれぞれ向う（一部残留組あり）。カリヨンゲート（幸せを呼ぶ平和の鐘）が迎えてくれる。クルス館で彫刻を鑑賞。下りは慎重に降りました。

バスで地図①地蔵の辻、②首実検石へ移動。地元のガイドさんから詳しく説明を受けた。

不退山合掌院長徳寺



山門

大きな山門をくぐり本堂に入ると椅子が用意され、住職夫人から暖かいお茶をいただく。臨床宗教師でもある住職の宗教を超えた心の広いあたたかい講話は、往時の受け入れを偲ばせる思いがした。

寺院内には切支丹殉教者の慰霊碑があり、2022年9月に新・旧キリスト教と仏教により慰霊祭が営まれたとのこと。

帰路、バス内で研修の感想を述べあった。

創建は、元慶（877年-885年）と云われているが明確ではない。現在は、時宗の寺院。

江戸時代のはじめ、旧仙台藩領（大籠・米川・馬籠）では、幕府の弾圧により多数のキリシタンが殉教した。そのような中、長徳寺は禁教時代に潜伏キリシタンと承知していながら檀家として受け入れ擁護してきた。



切支丹殉教者慰霊碑

福祉委員全体研修会

令和6年11月26日に、第1回の福祉委員全体研修会が開催されました。

研修テーマは「ふれあい・いきいきサロン活動について」とし、受付時にくじ引きで指定されたグループに各自着座し始めました。

まず、サロンコーディネーターである八木理事からサロン活動の基礎知識の確認と最近の活動状況のお話があり、その後グループで討議に入りそれぞれの地域の活動状況、実情、工夫例など討議に入り情報交換が行われました。

最後に地域福祉活動推進員の黒田副会長の進行により、全体討議で各グループから発表があり、情報の共有ができました。



まとめ

1 よかったテーマなど

- ・ 出前講座を利用して、興味あるテーマを選んでいる(リーダーに資料配付)
- ・ 東北大落研の落語 ・ 歴史の話
- ・ 地域包括支援センターの利用の仕方
- ・ 介護保険、サービスの内容
- ・ マイナンバーについて
- ・ 認知症予防の話と運動
- ・ 腸の話(ヤクルトから講師)
- ・ 健康麻雀教室 ・ 折り紙、脳トレ
- ・ ミュージックサロンにしている
- ・ 12月はケーキ作り
- ・ 体を動かすゲームは好評

2 活動のやり方の工夫など

- ・ 複数町内でまとまって行う。敬老会、子ども会と一緒にを行う
- ・ クイズ形式を取り入れる
- ・ 自己紹介だけでも盛り上がる

- ・ 町内会からの助成金がある
- ・ 草刈り、ごみ掃除後のお茶のサロン
- ・ なごみカフェの宣伝、口コミも大事

3 活動にあたってのなやみと解決策など

- ・ 適切な場所がない→他地区集会所利用
- ・ 参加者の固定化、(男性の)参加者が少ない→少なくとも継続実施が大事
- ・ 次に何をやるかで苦慮している→1 参照
- ・ 協力員がほしい→ボランティアを募る
- ・ 65歳未満の人が参加した場合の保険をどうするか→イベント保険利用もある
- ・ 福祉委員と民生委員との違いは、対応に困ることがあったときは→福祉委員と民生委員は、根拠は違うが同じような活動をしている。福祉委員は活動に当たって疑問や困難を生じたときには、民生委員に相談するとか、一緒に活動するなどしてほしい

などなど

第2回福祉委員全体研修会の予定

3月4日(火) 「サロン活動に利用できるような体操・ゲームの体験しよう」
—自分も楽しみサロンに活かそう—



一ご存じですか？ 福祉委員一

福祉委員とは、「住んでよかったと思えるまちづくり」のために活動する地域ボランティアの方々です。

福祉委員の役割

○ 生活・困りごとの気づき

普段の暮らしの中で、あいさつなどを通して困りごとのある方や家庭を見つけます。

○ 情報を伝える

知っている情報や学んだ知識を、必要としている方に伝えます。

また、適切な支援者や関係機関につなげます。

○ 地域とのつながり

町内会などの行事を通じて、協力者や仲間づくりをしています。



住民同士が、連携しながら連絡を取り合い、お互いの生活を支え合っていく
小地域福祉ネットワーク活動を行っています。

活動内容

○ 安否確認活動及び生活支援活動

見守り・声かけ活動や家事、外出の支援活動。

（ホームヘルパーではないので、無理のない範囲で）。

○ サロン活動

「ふれあい・いきいきサロン」を開催しています（楽しい仲間づくり）。



どんな方が

- 町内会役員、民生委員児童委員、
および福祉に関心のある方です。

※ 八幡地区では 現在、101 名の方
が活動しています。

菊地精一・黒田スミ子
大友幸一・渡邊 充

編集委員

令和6年度の事業も3
月の第2回全体研修会
を残すのみ。ご存じで
か？の編集では福祉委
員の大切さを再認識で
きました（大友）。

編集後記

